

短期研修報告書

記入 | 2015年 9月
所属 & 学年 | 工学部 1年生

留学先大学 (国名)	中国
短期研修のプログラム名	同済大学短期中国語研修
留学した期間	2015年 8月 9日 ~ 2015年 8月 23日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

動機は中国や中国語に興味があり留学費用も比較的安かったから。語学対策としては1か月前頃から単語帳で学習していた。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

平日の午前中に2コマの授業があり、学生による発表を多く取り入れた形式である。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

食生活については油を使った料理が多かったが、持参した胃腸薬が役に立った。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

人混みでは荷物を常に見える場所に持ってスリに気を付けた。

5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

自分はこの短期研修に非常に満足しています。初めての留学は不安が多かったですが、勇気を出して良かったです。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	60,000 円	
海外旅行保険	3,940 円	
授業料 (教材費含)	80,000 円	寮費, 見学費等を含む
滞在費 (寮費など)	円	
食費	30,000 円	
交通費	2,000 円	
その他 (小遣い、通信費など)	1,000 円	
計		18,5940 円

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

初めに、中国の上海の印象としては自分の想像以上に都会で便利な都市だと思いました。例えば、日本よりも物価が安くて、水などが日本の三分の一の値段で買えることはとても便利です。他には日本よりも地下鉄が進んでいるという印象を受けました。中国の地下鉄は線路に人が入らないようにガラスで保護されており、ほぼすべての車両にテレビがついていました。さらに交流会や町、食堂などでは現地の中国人に親切にしてもらい、とても助かったのを覚えています。日本よりも中国の方が家の値段は高いと思いましたが、もし、上海に自分の家があれば、日本よりも楽しく暮らせそうです。

中国の上海の悪い方の印象としては、下水道がしっかりしていないせいか、外のおいが気になりました。また、人口が多いため、仕方がないこととは思いますが、ごみが捨てられないまま放置されてある場所があり衛生的に心配になりました。また、交通の面では信号が赤でも進んでくるスクーターやバイクが多く、運転が荒い印象を受けました。しかし、一度慣れてしまえば、その方が目的地に早くつけるので便利という考え方もできます。また、自分は事前に「中国で料理を食べると必ずお腹を壊す」と聞かされていましたが、胃腸薬の準備をして来たためか、自分はそのようなことはなく、楽しく過ごせました。

同済大学の印象としては外で英語のスピーチの練習をする人やサッカーをする人、ジョギングをする人が多く、名古屋大学よりも活気のある大学だと思いました。また、同済大学はスーパーやリラクソスペースなどの設備が充実していて広いので、優れた学習環境のある大学です。さらに驚いたのはその敷地面積の大きさです。名古屋大学は日本でもかなり敷地面積の大きい大学ですが、同済大学は名古屋大学よりも広く、自然も多く感じました。研究施設などの見学は残念ながらできなかったのですが、声学研究所という日本では珍しい研究施設があったのが印象に残っています。留学生寮は壁にひびが入ってかけていたり、蚊やゴキブリが出るというのは不満でしたが、数日で慣れてあとは概ね快適に過ごせました。

研修中の授業では中国語を実際に話してみるということを目的とする授業で、日本ではなかなか行うことができない授業形式だったので、難しく感じましたが、その分自分の中国語のレベルアップを感じました。研修も後半に近づいてきたころには先生の会話も少し聞き取れるようになってきて授業がとても楽しく感じました。一年生で文法も不十分でしたが、暗唱や自習などによって中国語を体で覚えていくことで、使えるフレーズが増えていきました。特に勉強した中国語が町の中で使われていたり、書かれてあったりすると、それが理解できてうれしい気持ちになりました。単語や文法を覚えることも大事ですが、これから名古屋大学では授業の中で実際に中国語で話してみることを取り入れるといいと思います。

見学活動では中国文化体験などで直接異文化に触れることで様々な驚きを感じました。例えば太極拳は日本の武道にはないような動きが多く難しかったですが、意味を教えてもらうことで、その面白さが分かり、より深い異文化理解につながったと思います。また、研修中に個人的に上海博物館へ行き多くの古代中国の遺産や伝統品を見ることができました。中国の文化としては焼き物が昔から盛んであり、動物のイメージを持った像や器が多く感じられました。また他国との交流の中で送られた記念品も多数展示されており、中国の他国との交友関係の豊かさを感じることができました。さらに中国は世界で初めて貨幣を用いた国であるということで、様々な貨幣を目にすることができました。このような充実した内容の博物館が一般に無料で開放されているのは非常に良いと思います。

観光ではナイトクルーズが強く思い出に残っています。船から外灘のライトアップが見える美しい夜景は中国の上海が世界で最も発展している都市のひとつであることを実感させてくれます。また、同里見学も上海の都市部とはまた違った、伝統的な街並みと水の都というような魅力があります。

最後に、留学前、自分の友人は中国に対して否定的な印象を持っていましたが、今回の研修で中国に行ってみて、彼の偏見は間違っていると確信しました。中国は良い国です。これからさらに中国語を学んで、また中国へ行きたいと思います。

短期研修報告書

記入 | 2015年 8月
所属 & 学年 | 文学部 2年生

留学先大学 (国名)	同済大学 (中国)
短期研修のプログラム名	同済大学 夏の短期中国語研修プログラム
留学した期間	2015年 8月 9日 ~ 2015年 8月 23日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

東洋史研究室に所属しているので、一度中国に行き、現地の様子を見たり、中国語を学んだりしたいと思ったのがきっかけです。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

平日の午前中は授業で、午後は中国文化体験の授業か自由行動でした。午前の授業はすべて中国語で行われますが、先生は英語も話せるのであまり困りませんでした。午後の文化体験もとても楽しかったです。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

・住環境

留学生宿舎に住んでいました。浴室のドアがちゃんと閉まらないなどの不具合はありましたが、それほど困ることはありませんでした。

・食生活や健康管理

食べ物は美味しいですが、日本とは油の量などが違うので二回ほどお腹を壊しました。食べ過ぎに注意して、生水を飲まないようにしたり屋台のものを食べないようにしたりすれば大丈夫だと思います。

・金銭管理

二週間という短い期間なのですべて現金で持っていきました。ふだん大金を持ち歩かないようにすれば大丈夫です。

・持参して良かったもの

カップ麺やゼリードリンクなど、お腹を壊したときに食べるものを持参しました。衛生面に日本ほど気を配らない店もあるので、気になる人は箸を持参するといいです。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

都会を歩いていると、大通りを一本外れると危険を感じる道だったりしたので、そのような場所には近づかないようにしました。また、人通りの多い道ではスリに遭わないよう気をつかいました。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

環境や文化など、日本との違いにショックを受ける事も多かったですが、とても楽しく充実した研修でした。二週間という短い期間でしたが、自分が強くなったのを感じます。これから留学する方もそんな体験ができると思います。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	60000 円	
海外旅行保険	10000 円	
授業料（教材費含）	80000 円	寮費、プログラムに組み込まれた観光の代金などを含まれます。
滞在費（寮費など）	円	
食費	20000 円	
交通費	4000 円	
その他（小遣い、通信費など）	9000 円	
計	183,000	円

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

本が好きな人には人民広場駅に行くことをおすすめします。上海書城という何階建てもの大きな本屋があり、その周りにもいくつか本屋があります。駅周辺はデパートや飲食店などが立ち並んでいるので食事や買い物もそこでできておすすめです。

短期研修報告書

記入 | 2015年 7月

所属&学年 | 経済学部 4年生

留学先大学 (国名)	中国・上海 (同済大学)
短期研修のプログラム名	Sustainable Urban & Rural Development 1 st Student Workshop
留学した期間	2015年6月7日 ~ 2015年6月13日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

AC21 学生フォーラムで知り合った同済大学の Huang 先生から、当プログラムの紹介があり関心があったので応募しました。ゼミでも中国経済に関する内容を研究しており、中華圏の大学に交換留学へ行く予定でもあるので、中国の現状について知るきっかけにしたいと思いました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

授業に関しては、4人の先生による20分のショートレクチャーでした。その後は旅行会社の方がアレンジしてくれた2泊3日のツアーで、乌镇、杭州、宁波等、上海近郊の街を旅行し、最終日にプレゼンテーションを行いました。プレゼン内容に関しては自由度が高く、「自国の文化財に関する紹介」「持続可能な社会をつくるためのアイデア」などの内容でした。全員が約5分程度のプレゼンを行い、その後表彰式が行われました。比較的自由度の高いプログラムかつフィールドワークも多かったため、他の学生と交わる機会は多く、日本語ができる教授や学生もいたため、意見交換や文化交流は十分できる機会があったと感じました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

6月だったので、気候的には問題ありませんでした。ホテルでは両替できないうえ銀行は混んでいるため、両替は日本にいる間もしくは上海空港である程度しておいたほうがよいかもしれません。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

特に危険を感じたことはありませんでしたが、暗い場所や人気の少ないところは避けた方が良いと思います。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

中国の学生は母語である中国語の他にも英語はもちろん、日本語も流暢に話せる学生が多くてびっくりしました。上海は名古屋から2時間ほどで行くことができ、とても発展している街なので、初めて海外へ行かれる方にも非常におススメです。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	32000 円	中国東方航空往復
海外旅行保険	3000 円	インターネットで加入すれば割安です。
授業料（教材費含）	0 円	受け入れ大学負担です
滞在費（寮費など）	0 円	受け入れ大学負担です
食費	5000 円	プログラム期間中は無料です
交通費	5000 円	空港からの送迎等もカバーされています
その他（小遣い、通信費など）	10000 円	円安傾向ですが、物価は日本と比べて安いです。
計	55000 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

